JEF NEWS創刊号について

今号でJEF NEWSは113号を数えます。前身に「バドミントン体育」があります。「バドミントン体育」から「JEF NEWS」への経緯をJEFの歩みから抜粋で紹介します。創刊当時の体裁はB５版、右綴じ、縦書きでした。

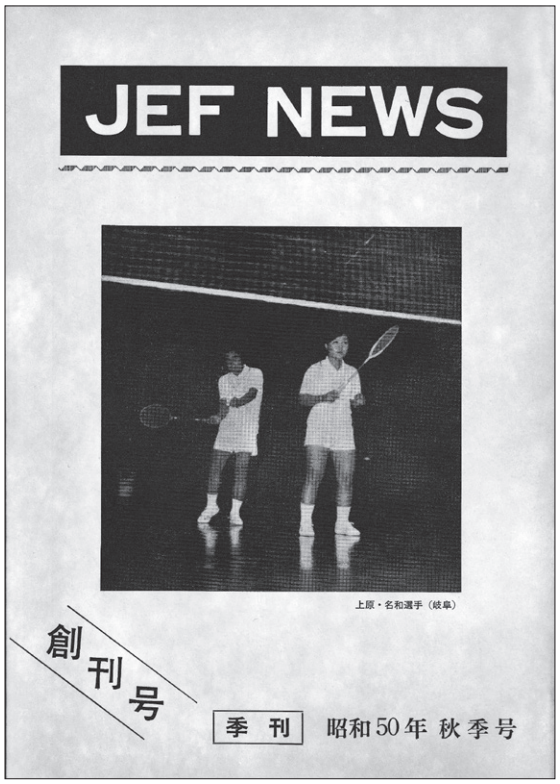
1962年（昭和37年）　『バドミントン体育』が創刊される。

1967年（昭和42年）　『バドミントン体育』が本連盟の正式機関誌となり、発行責任者平田理事長が決まる。『バドミントン体育』も第13号を数え、名実共に内容も充実してきた。

1969年（昭和44年）　日本バドミントン協会は、ユーバー杯に優勝したことを記念して『バドミントン界』を出版することになった。その編集にわが連盟の機関誌『バドミントン体育』のスタッフが協力を求められ、協議の結果、これに協力することになった。そのため連盟機関誌『バドミントン体育』はこの年をもって廃刊とする。（しかし、一年後本連盟の編集方針と趣旨に合わず決別する。この間機関誌途絶える。）

『バドミントン体育』22号（夏季号）を発行し、終了する。

1975年（昭和50年）　昭和37年に創刊された本連盟機関誌『バドミントン体育』は昭和44年に日本バドミントン協会機関誌『バドミントン界』に協力すべく、吸収・合併され発展的に解消したが、教職員としての立場から考え、やはり『バドミントン界』とは違ったものが要求されるようになった。従来の大会開催の時だけが唯一の会員交流の場ではなく、JEF会員の研修の場、また情報伝達・交歓の場として会員相互の親睦も併せて考えられるものとして、新たに『JEF NEWS』（年４回）を発刊することになった。発行責任者として里見光徳理事長が、編集長に本間研一氏が就任した。



創刊号表紙▶
内容は次のページ

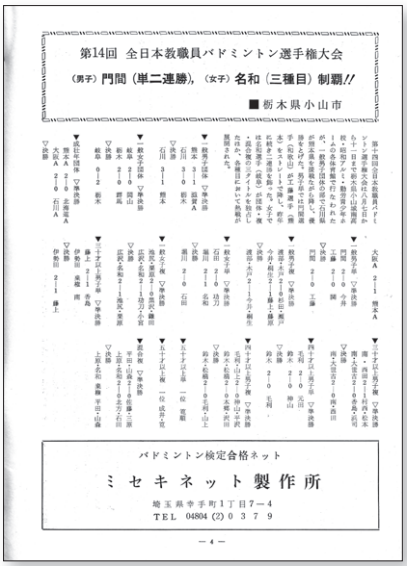
創刊号抜粋

創刊にあたって

日本実業団バドミントン連盟理事長　里見光徳

今、世界のJEFの仲間と共に、新日程は、初めて、個人戦、賞金総団体戦の開催と、新しい時代を迎えようとしている。

本大会の特徴は、今回、賞金総団体戦の開催と、新しい時代を迎えようとしている。



第14回　全日本教職員バドミントン選手権大会

（男子）門間（岸二連勝），（女子）名和（三種目）制覇!!

■栃木県小山市

バドミントン検定合格ネット

ミセキネット製作所

埼玉県寺手町1丁目7－4

TEL　04804 (2) 0 3 7 9

審判長をつとめて

上田敬次

バドミントン検定合格ネット

鐘屋産業株式会社

本社　大阪市南区芦屋48・電話（06）271－0046

東京都文京区本郷3－17－2・電話（03）811－3773(代)

昭和50・51年度　JEF常任理事紹介

龍井昇治

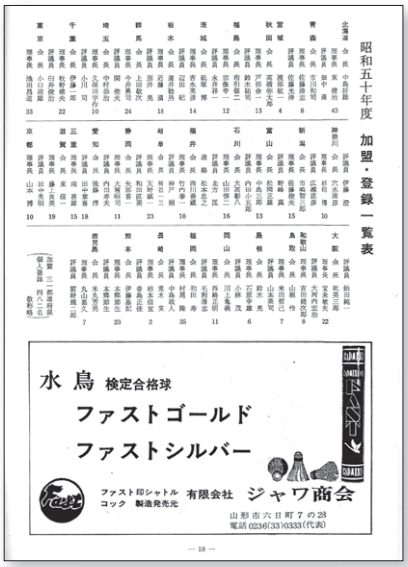
東南アジア・バドミントンツアー

TEF理事長　池田昌道

表紙の人

天野博江

三重国体強化室



昭和五十年度　加盟・登録一覧表

水鳥　検定合格球

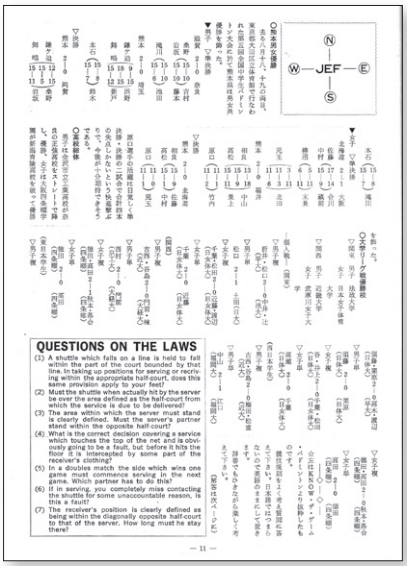
ファストゴールド

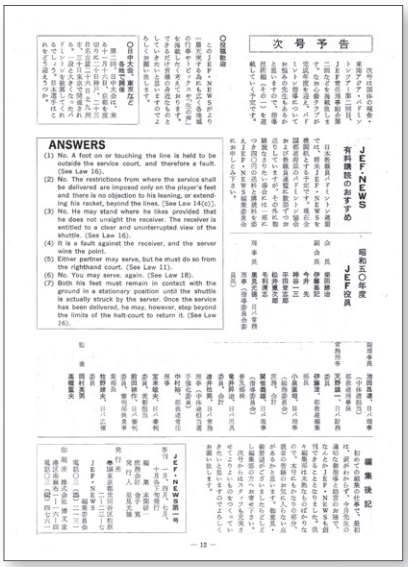
ファストシルバー

ファスト印シャトルコック製造発売元　有限会社　ジャワ商会

山形市六日町7の28

電話 0236(33)0333(代表)





次号予告

ANSWERS

QUESTIONS ON THE LAWS

編集後記

全日本教職員バドミントン選手権大会開催地と歴代会長・理事長

年	回　　数	開　催　地	会　長	理事長
1962（S37）	第　１　回	東京都文京区	栗本　義彦	平田　登志郎
1963（S38）	第　２　回	群馬県桐生市	栗本　義彦	平田　登志郎
1964（S39）	第　３　回	三重県伊勢市	栗本　義彦	平田　登志郎
1965（S40）	第　４　回	大分県日田市	栗本　義彦	平田　登志郎
1966（S41）	第　５　回	北海道札幌市	栗本　義彦	平田　登志郎
1967（S42）	第　６　回	富山県高岡市	栗本　義彦	平田　登志郎
1968（S43）	第　７　回	大阪府大阪市	栗本　義彦	平田　登志郎
1969（S44）	第　８　回	埼玉県上尾市	栗本　義彦	平田　登志郎
1970（S45）	第　９　回	岐阜県岐阜市	栗本　義彦	平田　登志郎
1971（S46）	第１０回	岡山県岡山市	栗本　義彦	平田　登志郎
1972（S47）	第１１回	秋田県秋田市	栗本　義彦	平田　登志郎
1973（S48）	第１２回	滋賀県大津市	栗本　義彦	里見　光徳
1974（S49）	第１３回	熊本県熊本市	柴田　勝治	里見　光徳
1975（S50）	第１４回	栃木市小山市	柴田　勝治	里見　光徳
1976（S51）	第１５回	東京都世田谷区	柴田　勝治	里見　光徳
1977（S52）	第１６回	山口県下関市	柴田　勝治	里見　光徳
1978（S53）	第１７回	宮城県仙台市	柴田　勝治	里見　光徳
1979（S54）	第１８回	福岡県北九州市	柴田　勝治	里見　光徳
1980（S55）	第１９回	石川県金沢市	柴田　勝治	里見　光徳
1981（S56）	第２０回	福岡県郡山市	柴田　勝治	里見　光徳
1982（S57）	第２１回	佐賀県嬉野市	柴田　勝治	里見　光徳
1983（S58）	第２２回	静岡県沼津市	柴田　勝治	里見　光徳
1984（S59）	第２３回	青森県弘前市	柴田　勝治	里見　光徳
1985（S60）	第２４回	福井県福井市	柴田　勝治	小泉　直坦
1986（S61）	第２５回	広島県広島市	柴田　勝治	小泉　直坦
1987（S62）	第２６回	北海道苫小牧市	柴田　勝治	小泉　直坦
1988（S63）	第２７回	奈良県奈良市	柴田　勝治	小泉　直坦
1989（H元）	第２８回	香川県坂出市	柴田　勝治	前田　耕作
1990（H 2）	第２９回	岩手県盛岡市	柴田　勝治	前田　耕作
1991（H 3）	第３０回	愛知県豊橋市	柴田　勝治	前田　耕作
1992（H 4）	第３１回	熊本県熊本市	柴田　勝治	前田　耕作
1993（H 5）	第３２回	神奈川県平塚市	柴田　勝治	前田　耕作
1994（H 6）	第３３回	石川県金沢市	柴田　勝治	前田　耕作
1995（H 7）	第３４回	鳥取県米子市	柴田　勝治	稲石　一雄
1996（H 8）	第３５回	千葉県千葉市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
1997（H 9）	第３６回	和歌山県新宮市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
1998（H10）	第３７回	愛媛県松山市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
1999（H11）	第３８回	青森県青森市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
2000（H12）	第３９回	三重県伊勢市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
2001（H13）	第４０回	福岡県北九州市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
2002（H14）	第４１回	山梨県甲府市	鯨岡　兵輔	稲石　一雄
2003（H15）	第４２回	宮崎県宮崎市	下村　博文	稲石　一雄
2004（H16）	第４３回	島根県三刀屋町・大東町	下村　博文	稲石　一雄
2005（H17）	第４４回	栃木県宇都宮市	関場　武	髙橋　英夫
2006（H18）	第４５回	京都府長岡京市・京都市	関場　武	髙橋　英夫
2007（H19）	第４６回	長崎県大村市	関場　武	髙橋　英夫
2008（H20）	第４７回	茨城県牛久市・土浦市	関場　武	髙橋　英夫
2009（H21）	第４８回	兵庫県神戸市	関場　武	髙橋　英夫
2010（H22）	第４９回	鹿児島県薩摩川内市	関場　武	髙橋　英夫
2011（H23）	第５０回	愛媛県松山市	関場　武	髙橋　英夫
2012（H24）	第５１回	長野県長野市	関場　武	髙橋　英夫
2013（H25）	第５２回	宮崎県宮崎市	関場　武	髙橋　英夫
2014（H26）	第５３回	東京都墨田区・葛飾区・台東区・江東区	関場　武	髙橋　英夫
2015（H27）	第５４回	奈良県田原本町・大和郡山市	関場　武	髙橋　英夫
2016（H28）	第５５回	鳥取県鳥取市	関場　武	髙橋　英夫
2017（H29）	第５６回	福島県郡山市	関場　武	髙橋　英夫
2018（H30）	第５７回	愛知県一宮市	関場　武	髙橋　英夫
2019（R元）	第５８回	長崎県長崎市・長与町	関場　武	髙橋　英夫
2020（R 2）	第５９回	【中止】高知県南国市	関場　武	髙橋　英夫
2021（R 3）	第６０回	【中止】新潟県新潟市	髙橋　英夫	歸山　好和

全日本教職員バドミントン選手権大会　近年の参加数推移

	愛媛	新潟	高知	長崎	愛知	福島	鳥取	奈良	東京	宮崎	長野	愛媛
種　目	参加数	参加申込	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数
一般男子団体	17	11	新型コロナウイルスため中止	14	18	17	18	17	17	15	21	19
一般女子団体	9	10		10	9	10	9	10	11	11	12	13
男子成壮年団体	10	9		12	14	17	17	17	19	17	19	16
女子成壮年団体	5	2		4	6	6	5	6	＊	＊	＊	＊
ハイパー男子団体	11	8		9	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
小　計	**52**	**40**		**49**	**47**	**50**	**49**	**50**	**47**	**43**	**52**	**48**
種　目	参加数	参加申込		参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数	参加数
一般男子単	78	58		88	116	107	93	78	95	76	96	78
一般男子複	54	38		54	71	67	58	47	61	45	63	45
30歳男子単	53	37		43	51	43	45	45	55	46	40	45
30歳男子複	25	19		24	29	25	31	27	30	25	27	27
40歳男子単	33	29		49	48	50	56	53	67	57	60	45
40歳男子複	25	24		29	35	34	29	30	43	34	32	25
50歳男子単	49	37		53	56	52	64	59	59	47	61	41
50歳男子複	28	22		34	38	39	41	44	45	32	44	37
60歳男子単	23	23		25	32	22	21	22	22	16	19	14
60歳男子複	24	20		19	19	13	14	15	15	10	12	7
65歳男子単	15	12		16	16	17	14	13	15	10	11	9
65歳男子複	8	3		12	8	11	7	7	10	5	7	4
70歳男子単	16	14		13	12	13	12	12	14	9	10	9
70歳男子複	9	7		4	5	5	6	5	5	3	5	5
男子合計	**440**	**343**		**463**	**536**	**498**	**491**	**457**	**536**	**415**	**487**	**391**
一般女子単	20	15		25	29	31	33	48	45	36	45	49
一般女子複	27	25		24	32	33	29	36	36	32	34	31
30歳女子単	7	5		11	10	7	8	8	8	12	11	14
30歳女子複	7	3		10	9	8	6	5	5	10	6	9
40歳女子単	4	4		5	5	8	10	9	11	9	17	15
40歳女子複	6	5		7	8	8	8	10	9	7	11	10
50歳女子単	6	2		13	16	13	16	14	14	13	16	9
50歳女子複	10	3		10	14	12	10	14	7	7	7	6
55歳女子単	12	12		3	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
55歳女子複	6	6		3	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
女子合計	**105**	**80**		**111**	**123**	**120**	**120**	**144**	**135**	**126**	**147**	**143**
個人戦合計	**545**	**423**		**574**	**659**	**618**	**611**	**601**	**671**	**541**	**634**	**534**

第50回大会からの推移を提示しました。今回（第61回大会）は団体戦の参加数が増えています。個人戦の参加数がやや少ないように見えますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に注意が必要な状況が変わらない現状でこの参加数は「多い」と言えます。会員の皆さんの、大会を待ち望んでいる心情が読み取れます。注目すべき点は、今まで登録の無かった県からも参加があることです。今回申し込まれた皆様の期待に応えるためにも、安全で楽しい大会になるよう注力しなければいけないと思っています。